

南部地区人権教育実践報告会

令和4年7月29日（金） 会場：朝霞市民会館ゆめぱれす（総参加者数374人）

1 全体会の概要

- (1) 開会の言葉
(2) あいさつ

実行委員
南部教育事務所長
実行委員長
朝霞市副市長
人権教育課主幹



- (3) 情報提供

- (4) 人権作文・表彰

- ・「わたしのお気に入り」 桶川市立朝日小学校 2年生
- ・「車いすバスケットボール」 川口市立芝富士小学校 3年生
- ・「やさしくされて」 新座市立陣屋小学校 4年生
- ・「服を好きなように」 桶川市立桶川東小学校 5年生
- ・「差別」と「気づかい」 上尾市立東町小学校 6年生 (当日欠席)
- ・「チアダンス」 草加市立新栄中学校 1年生 (当日欠席)
- ・「知ってもらふこと」 鴻巣市立赤見台中学校 2年生
- ・「理解からはじめよう」 志木市立宗岡第二中学校 3年生
- ・「私の考える『普通』」 県立新座総合技術高等学校 3年生

- (5) 閉会の言葉

実行委員

2 分科会の概要

分科会名	実践報告
同和問題	○誰とでも仲良くできる子供を育むために ～私の教育実践～ ○川口市における人権教育の取り組み ～同和問題の理解のために～
子供・ 様々な人権 課題	○保育園における人権教育 ～人権に配慮した保育を行うためには～ ○安心・安全で明日も行きたいと思える学校づくり ～生徒指導の観点から考える～ ○高校生活3年間を通して醸成すべき人権意識
高齢者	○更に元気に明るく過ごす高齢者施設 ～入所・通所の方々との豊かな共生～ ○地域高齢者と子供たちとの大切な交流の場を通して
障害のある 人	○互いの存在を尊重しつつ共に生きようとする心や態度の育成 ○共生社会へ向けての相互理解
女性・性の 多様性	○鴻巣市における地域への人権教育推進事業 ○性別に捉われない自己肯定感の尊重 ～みんなちがってみんないい～ ○生徒と共に「性の多様性を理解する」 ～当事者の生徒には理解する姿勢を、その他の生徒には良き支援者・理解者になる感性を～
外国人	○共にわかり合い育ちあう保育を目指して ○在日クルド人への理解を深めるために

3 参加者の意見など

- 人権作文の発表を初めて聞きました。子供たちはこちらが考えている以上にたくさんのことを考えていることが分かり、大変感動しました。大変勉強になりました。
- 課題は分かっているのに、なかなかシフトチェンジできない現状こそが課題です。何とかして進めたいと思います。
- 疑問に思うことについて質問できたり、参加している方々の悩み事が聞けたりして、とても参考になりました。集合型開催は感染のリスクがあったが、人権教育の指導や普及の参考になりました。

○大人の人権感覚を見直す大変良い機会となりました。人権教育の重要性に気づくことができました。